



令和4年度災害廃棄物に関する モデル事業の報告

環境省 九州地方環境事務所 資源循環課

令和5年2月21日

1. 災害廃棄物処理計画策定・改定支援

- ・策定支援に際しては、当事務所が作成した市町村災害廃棄物処理計画ワークシートを参考に、近年の災害により即した内容となるよう編集
- ・改定支援に当たっては、対象市町村にヒアリングを実施し、追加、変更項目について改定案を策定
- ・近年各地で多発している水害について、発生する災害廃棄物量の推計値を算出し、必要な対応についても記載するようにした。

今年度の策定支援町（2町）

福岡県：久山町、上毛町

今年度の改定支援市町（11市町）

福岡県：大川市、うきは市、糸島市
佐賀県：上峰町、みやき町
長崎県：川棚町
宮崎県：日向市
鹿児島県：奄美市、薩摩川内市、
中種子町、東串良町

令和3年度末時点の九州地方環境事務所管内災害廃棄物処理計画策定率

県名	策定市町村数	全市町村数	策定率%
福岡県	41	60	68.3
佐賀県	20	20	100.0
長崎県	21	21	100.0
熊本県	45	45	100.0
大分県	18	18	100.0
宮崎県	26	26	100.0
鹿児島県	37	43	86.0
沖縄県	15	41	36.6
全体	223	274	81.4

2. 現行の災害廃棄物処理計画に対する実効性の検証を目的とした 対応型図上演習

- ・ 現行の災害廃棄物処理計画に対する実効性の検証と、県と県内自治体の災害時の連絡体制の確認を目的として管内7県にて実施
- ・ 昨年度当事務所が作成した「水害時の災害廃棄物処理に関する初動行動等のハンドブック」で示した対応項目に相当する状況付与を行い、自治体の災害廃棄物処理計画等の内容の把握や不足箇所の確認を行った。

図上演習での主な確認事項

- ・ 災害初動期の災害廃棄物担当組織体制
- ・ 被害状況等の情報共有に関する連絡経路
- ・ 災害廃棄物発生量の推計（被害規模の把握）
- ・ 仮置場の開設（実際の候補地から選定）
- ・ 処理施設の処理可能量と支援要請の要否確認
- ・ 収集運搬に関する支援要請の要否確認
- ・ 県外からのプッシュ支援への対応
- ・ 未管理仮置場への対応 ・ 処理フローの確認
- ・ 住民やボランティアへの広報



図上演習状況（熊本県）

3. 水害時の災害廃棄物処理に関する初動行動等のセミナー

- ・ 災害廃棄物担当者の災害対応力を強化する目的で、発災時に担当者に求められる初動の行動を解説するセミナー
- ・ 内容は、環境省災害廃棄物対策室が令和3年3月に改訂した「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」と、それを基に昨年度当事務所が作成した「水害時の災害廃棄物処理に関する初動行動等のハンドブック」に基づいたもの。

セミナー内容（同一内容で2回開催）

（第1回） 令和4年12月16日（金）福岡市内にて開催

参加者：会場参加 4名、オンライン参加 28名

（第2回） 令和5年2月3日（金）宮崎市内にて開催

参加者：会場参加 9名、オンライン参加 34名

- ・ 「災害時の一般廃棄物処理に関する初動対応の手引き」から読み解く発災時の初動行動

講師：横浜市 人事委員会事務局 任用課 本田泰之様

- ・ 「水害時の災害廃棄物処理に関する初動行動等のハンドブック」の活用方法

講師：一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局
環境事業部施設事業課 大渡俊典様

セミナー開催状況（宮崎市）



4. 水害時の災害廃棄物発生状況図化研修会

- ・昨年度、当事務所では、水害時の災害廃棄物発生状況についてGISソフト等を利用し、事前予測するための操作方を「水害時の災害廃棄物発生状況図化の手引き」にまとめた。
- ・本年度は、実際の操作方を身に付けるための研修会を開催した。
- ・研修内容を参加者にYouTubeで限定公開し、任意に操作方を確認できることとした。

研 修 内 容

(第1回) 令和4年9月21日(水)福岡市内にて開催

基調講演：環境・防災分野への地理空間情報技術の適用

研修内容：OGIS、iSTAT MAPの準備

参加者（申込時点）：会場参加 4名、オンライン参加 34名

（第2回） 令和5年1月19日（木）福岡市内にて開催

研修内容：OGIS、iSTAT 町・丁・字別災害廃棄物量の推計方法

参加者（申込時点）：会場参加 5名、オンライン参加 18名

(第3回) 令和5年2月8日 (水) 福岡市内にて開催

研修内容：OGIS、iSTATジオリファレンサ、仮置場地点の表示

参加者（申込時点）：会場参加 5名、オンライン参加 18名



災害廃棄物の単位面積あたり発生量の図化